

佐伯地域の栗栖地区にある「栗栖神楽団」。その神楽団には子どもたちで構成する「栗栖こども神楽」があります。平成19年、後継者育成と活動にインパクトを添えるという趣旨で小学生～中学生の子どもを集め発足しました。当初は団員の子どもの中心でしたが、現在は神楽に興味を持った子どもたちが佐伯地域、廿日市地域、また大野地域からの男女17名の団員となっています。それぞれの役に担当の先輩の団員（大人神楽の団員）が付き、厳しく熱心な指導をしています。最初は恥ずかしそうでこちない動きですが、先輩の励ましや、人前で演じる事で自信も付き、声も大きく動きも生き生きとしてくるそうです。

取材時は、近々上演予定の「羅生門」の練習でした。本番のきらびやかな衣装を付け、先輩たちの見守る中、役に成り切り演じる姿は真剣そのもの。また、演舞に色を添える楽の演奏をする子どもたちは、演舞に合わせて、太鼓、鉦、笛を奏でます。正座した足を崩すことなく2時間余りの練習中、演奏し続けられる集中力には感嘆しました。真剣に指導する先輩たちの姿があるからこそ、子どもたちもそれに応えている、そのように感じました。それは「先輩たちのように華麗に舞いたい」「神楽が大好きで早くかっこよく舞いたい」と異口同音に返してくる子どもたちの言葉がなにより気持ちを物語っていました。

黒田祐二代表は「子ども神楽団としての大きく発展する事を望んでいるのではなく、この地域に神楽を通じて若い人が集まり、地域を大事にして、この場所を古里と思ってくれたら嬉しい」と話しています。



【取材：情報部】

はつかいち「青少年健全育成」新聞
「シャボン玉」を発行します！

市民活動センターの登録団体の連携で新聞が生まれました。子どもたちに関わる活動をしている5つの団体がひとつになり情報を発信します。

小さい頃、しゃぼん玉を飛ばした経験は誰にでもあることでしょう。どんな思いでしゃぼん玉を吹いていたのか記憶はあいまいですが、空高くふわふわ浮かび太陽光線を反射して七色に光るしゃぼん玉に子どもの頃、みんなワクワクするような思いを寄せていたのではないのでしょうか。

はつかいち「青少年健全育成」新聞発行委員会では、そんな「しゃぼん玉」を子どもたちの「夢」や「希望」や「健やかな成長」の一つの象徴として捕らえ、この7月に創刊する新聞の愛称とすることにいたしました。しゃぼん玉は壊れて消えますが、次々にどんどん膨らませることができます。時に挫折しても立ち直っていく力を備えている子どもたちの生命力にぴたりと重ね合わせることができると考えています。

はつかいち「青少年健全育成」新聞の『しゃぼん玉』を末永くよろしくお願いいたします。

◆ 発行に関する詳細 ◆

発行部数：1万4千部
年3回発行（7月・12月・3月／予定）
配布箇所：廿日市市内全小学校（19校）・全中学校（11校）
全市民センター（20館）・及び人が集まる場所
発行責任者：はつかいち「青少年健全育成」新聞発行委員会
（青少年育成廿日市市民会議・青少年夢プラン実行委員会・廿日市市公衆衛生推進協議会・廿日市市子ども会育成連絡協議会・廿日市市PTA連合会）
代表／後藤 香代子

今年も
賑やかに

8月29日（月） たのもせん「センター号」発進!!

宮島地域南町地区に古くから伝わる神事「たのもせん」。農作物への感謝を込めて「たのもせん」と呼ばれる小舟を海に流します。この神事は誰でも参加OKとのことで、昨年、情報部員でたのもせんを作り、取材をかねて参加しました。今年もまた、たのもさんの時期が来ました。昨年同様、センター有志の皆様の想いを乗せた「たのもせん」を作り、ぜひ参加したいと思います。7月中旬には作成に取り掛かる予定ですので、興味のある方、ぜひのそきにきてください。



↑
昨年作った
センター号
← 製作中

****お問い合わせ先**** 廿日市市市民活動センター
廿日市市住吉 2-2-16 ☎0829-32-3741 fax0829-32-3742
HPアドレス <http://www.hatnet.jp/>

****ネットワーク現在の状況****
（平成23年6月末現在）
登録団体 **177** 団体

市民活動情報紙 さくらdeファミリー

廿日市市市民活動センター
平成23年度
Vol. 16

運営協議会トピックス

23年度の更新手続きはお済みですか？

今年度の更新書類を3月31日までに提出をお願いしていましたが、手続きはお済みですか？更新しないと、登録扱いとなりません。また、総会資料などの添付書類が未提出の団体は、お早めにお願います。

●登録団体としてセンターを利用できなくなるもの

①地域貢献活動保険 ②センター施設・備品利用 ③本紙等の登録団体用配布物

被災地支援フェスタの様子の動画配信

3月13日（日）開催しました「被災地支援フェスタ」の様子をマンスリーDVDで紹介しています。市民活動センターのホームページから見る事が出来ます。トップページの左側下段「マンスリーDVD」をクリックしてください。

休館日のお知らせ

8月14（日）・15（月）・16（火）日の3日間は、夏季休館日となっております。ご注意ください！

情報部主催

フォトコンテストを目指そう！

デジカメ基本機能講座



今年度も、活動記録のスキルアップを目指し、デジカメ講座を行います。基本のカメラの機能を主に教えてもらいます。通常使っているお手持ちのカメラを持ってきてください。カメラの機能を質疑応答形式で2回に分けて教えていただきます。

●場所・日時

市民活動センター 第2研修室

1回目 9月7日（水）14：00～16：00

「基本の機能操作」

2回目 9月21日（水）14：00～16：00

「操作の応用」

●講師：東 弘幸氏

（カメラのサエダ ビジネスサポート推進課）

●対象：ネットワーク登録団体所属会員で

2回とも参加可能な方

●センター受付にある申込用紙に必要事項を記入してご提出ください。

●先着20名 ●締切り 7月31日（日）

☎問合せ：市民活動センター 0829-32-3741（内線1001）

あれこれ聞きたい!!
ここが聞きたい!!
なんでこうなるの?



ネットワーク団体紹介



しりあっChaO

子育てって難しいですよね。核家族化が進み孤独な中で悩んでいる人もいらっしゃることでしょ。でも安心！こんなにたくさんの子育てに関わっている団体があります！



育児サークルおひさま

保育に携わってきた経験の中で、言葉で気持ちを伝えられない子どもたちの心の汲み取り方をどう保護者に伝えたいのだろう、と疑問に思ってきましたが、タッチ・コミュニケーションにであい、心のふれあいを大切にしたいタッチの時間を持つことで自分自身が癒される、至福の時をたくさんのお母さんたちと共に楽しみたいという気持ちで、育児サークルおひさまは生まれました。

親子の触れ合い遊び、ベビー&チャイルドマッサージで愛情補給をし、お茶の時間には楽しい会話が弾みます。「な～んだ私だけじゃないんだ、良かった。」と思うこともたくさんあります。ほんの少し家事を忘れて子どもと触れ合い、会話をを楽しむ、それだけで楽になります。お母さんって結構ストレスが溜まってるんですね。保育の現場ではわからなかった親の本音を聞くことができ、子育ての課題が見えてきました。現在は、ただ集まって話すだけではなく、親として、人として成長できるよう子育て講座も開催しています。(下記参照) 講座を受けた後は、子どもにも家族にも優しくなる気がします。「子どもと触れ合う時間を持つことで私も癒されるという体験ができた」と感想をいただいています。これから多くの方に「子どもの心を愛情いっぱい満たしていく簡単な方法」を学んでいただく場づくりをして、元気な廿日市っ子を育てていきたいです。



【講座のご案内】

- ★第1週・親のメンタルケア「ママのためのヨガセラピー」
 - ★第2週・おひさま～お茶会～
 - ★第3週・親子の触れ合い遊び「親子のタッチ・コミュニケーション3回連続講座」
 - ★第4週・心理学を通して子育てを学ぶ「子育てのための心理学講座」
- 毎月火曜日 10:30～12:00
講座会場：廿日市市民活動センター
お問い合わせ・お申込み
育児サークルおひさま代表：田中和江 090-8718-6062



青少年育成廿日市市民会議・大野支部

おおの子坊主さんの会



青少年育成廿日市市民会議では地域の青少年が心身共に健全でたくましく生きる力が育つ事業を展開し、健全育成に資する社会環境をつくるための取組を行っています。大野支部は主に夏休み期間を利用して地域の児童・生徒が自然と親しみ、情操が育まれるような事業として、“おおの小坊主さんの会”、“夏空の流星観察”、“ウインドサーフィン体験教室”などの行事を毎年行っています。その中で、特に注目されている“おおの小坊主さんの会”の行事内容を紹介します。

これは宮島の大聖院境内で僧侶の方々の指導のもとで行われる1泊2日の合宿体験行事で、今年も7月23～24日に実施予定です。例年7～8名の見守り隊と、20～30名の児童・生徒が参加します。第1日目は大聖院まで行進し、開会式を行います。念珠、護摩木づくり、夕勤行と座禅の御勤めを行い、夕食を感謝の心をもっていただき、入浴も規律正しく行います。夕食後の火渡りの神事では、無心となって火の中を渡ります。

第2日目は5時半に起床し、朝食前に朝勤行を行い、7時から弥山登山を行います。下山後は本坊かき氷で喉を潤おして感想文を書き昼食のソーメンを食べます。院内の清掃と片付けを行って閉会式を行い、大聖院座主様から修了証が授与されます。

連絡先：大野支部長 山本国雄
0829-55-0312



多胎育児サークル ピーナッツフレンド

1993年より発足して18年目となります、多胎育児サークル『ピーナッツフレンド』です。会員数は約80組。双子や三つ子をもつママたちが、育児相談や情報の交換などで助け合い、親睦を図ることを目的として活動しています。毎月定例のミニ集会に加えて、休日には家族揃って参加できるイベント(ピクニック集会、リサイクル集会、クリスマス集会など)や、ママだけのランチ会なども実施しています。



家にこもりがちな多胎育児中のママたちの外出のきっかけとなれば嬉しいです。どうぞ見学にいらしてください。

【活動内容】

年9回会報発行
月1回ミニ集会～廿日市地区
(市民活動センターまたは、あいプラザ)
平日10:15～12:00
その他3地区(佐伯区、西区、安佐北区)
年4回全体集会、ママランチ会など
入会金500円、年会費2500円
連絡先：廿日市地区 白水友紀
090-9733-2709

廿日市市子ども会育成連絡協議会

ジュニア・リーダーズ・クラブ



市子連(廿日市市子ども会育成連絡協議会)では、設立時からの願いだった「子どもの手による、子どものための子ども会活動」「大人に頼らない子ども会活動」を推進する上で欠かせないジュニア・リーダーズ・クラブを今年4月に発足することができました。これは、活動することが大好きで、子どもたちと一緒にいることが大好きな中学生・高校生の地域自主活動組織です。現在36名のジュニア・リーダーがいます。



昨年11月7日には、さくらびあ小ホールでジュニア・リーダーによる「朗読劇じごくのそうべえ」を上演しました。演劇発表がしたいと話合い、練習、合宿を重ね、共に朗読劇を創っていく中で、ジュニア同士の信頼を深め成長することができました。

他に地区子ども会活動に昨年は廿日市地区須賀子ども会・平良小学校全子ども会・地御前地区堀の町子ども会の研修会・平良地区2区子ども会・陽光台2丁目子ども会のイン・リーダー研修会に計画を立てるところから参加し、研修会の支援活動をしました。

また、毎年春休みには市子連子ども会リーダー研修会を開催しています。今年は88名が参加して広島市似島臨海少年自然の家で研修を行いました。今年も11月6日(日)に「VOICE2011」(市内小中学生の意見発表)と共に演劇発表をしたいと話合いを進めています。

今後子ども会活動を通して、地域社会の中で子どもたちが育ち合うことの大切さを考え活動を進めていきたいと思っています。

連絡先：会長 本多誠一
0829-32-6571



特定非営利活動法人 キッズNPO

社会や環境の変化によって、子育てしている方や子どもたちは多くの問題にぶつかります。育児ストレス、育児放棄、虐待、貧困、いじめ、自殺、小1プロブレム、中1ギャップ・・・など、社会問題にまで広がることがあります。

特定非営利活動法人キッズNPOは廿日市市を中心に子育て支援活動(託児所、学童保育、病児保育、ワークチャイルドケアバランス事業、送迎サービスなど)子ども体験活動(キャンプ等自然体験、森のようちえん、スポーツ教室など)を通して一人でも多くの方に笑顔で暮らしている環境を作り、「子どもが生きる力や夢を持ち、生きていける、子育てにやさしい町を作る」という大きな目標に向かって走りだした所です。是非一緒に子育て、子どもの問題を解決しましょう！！

利用者・協力して下さる方、
大募集中です★



理事長 吉本卓生
〒738-0033 廿日市市串戸 3-1-6
TEL0829-31-2121
FAX0829-31-2122
Mail info@kidsnpo.jp
HP <http://www.kidsnpo.jp/>
<http://www.naturefriend.jp/>